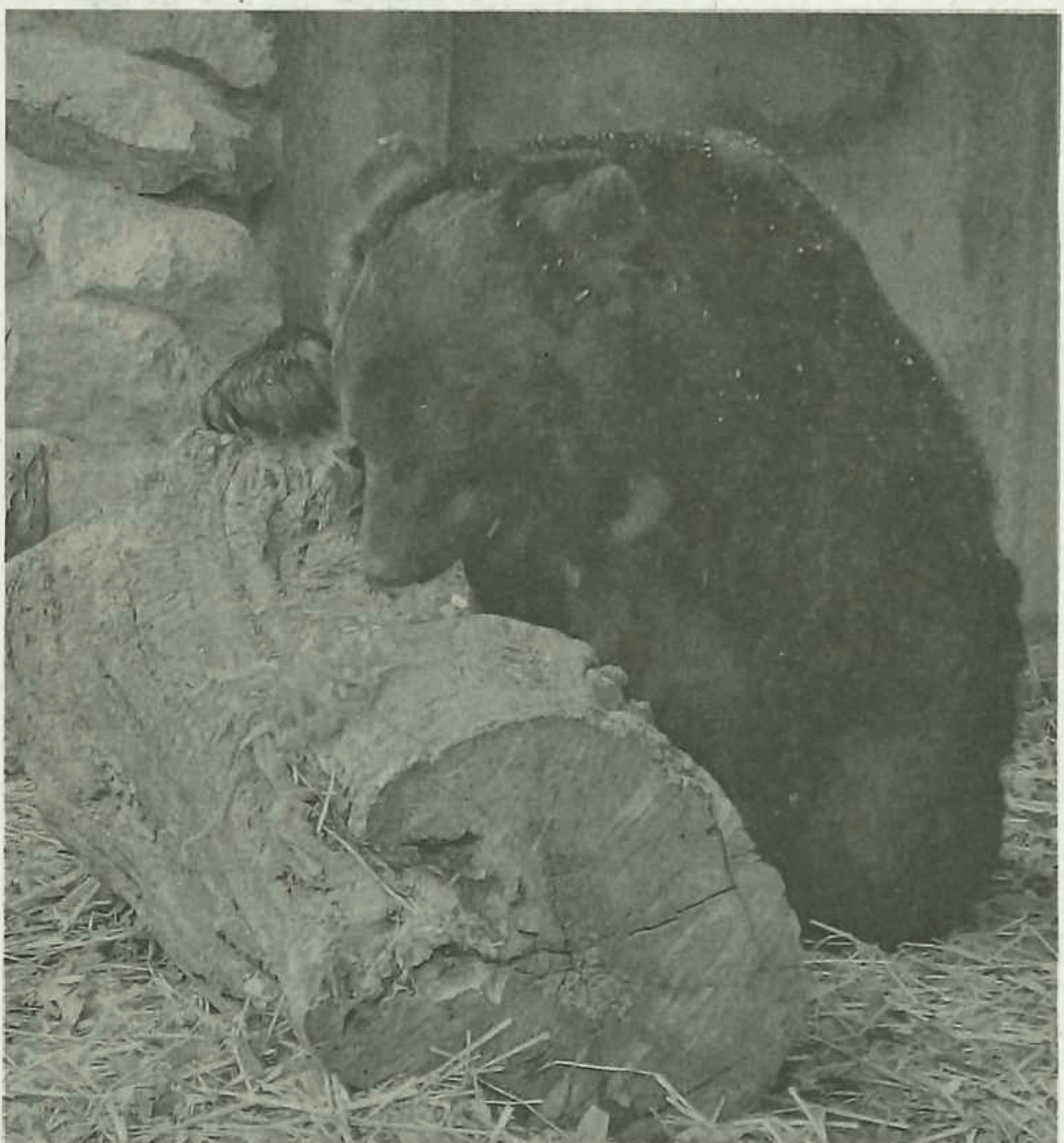


「まちがい探し」が仕事

須坂市動物園で飼育しているニホン
ツキノワグマ
(同園提供)



飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



スザッチ

飼育員の仕事のほとんどは獣舎清掃と給餌です。獣舎清掃は作業前が結構重要だったりします。前日施錠してから翌朝までに、獣舎でどんなことがあったのかを推察します。開園時間中も同じですが、特に夜間はすぐに確認することができないので、ときに、なんで？と思うことがあったりします。

何をきっかけに推察するかというと、動物の表情、餌の残量、排泄物の有無や

状態から、主に体調面を観察し、抜けた毛や羽などの有無と量からは、換毛や換羽などの季節変化が起きていることがわかるので、その時期に必要な飼料に調整する日途になります。

毛や羽が多量に落ちている場合は、皮膚の炎症や群れ飼育の場合は闘争などを心配します。その他、遊具や止まり木の位置変化、破損などを観察します。場合によっては採取や撮影をして残すこともあります。毎日同じようで、ちよっと違ったり、「なんでこれがここに」と驚くような日もあったりと、日々まちがい探しをしているようです。

4月19日は「飼育の日」。飼育員がどんなことをしているのか見に行ったり想像したりしてみてください。さい。

(飼育技術員 笹井恵)